

重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																																																																																																																																																																																								
<p>表 6-1-1 各勤務サイクルでの被ばく線量 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合) (単位: mSv) ※1※2※3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約6.2<sup>※4</sup></td> <td>23直 約2.7</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.3</td> <td>1直 約1.2</td> <td>-</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3<sup>※4</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約1.9</td> <td>1直 約1.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.87</td> <td>約9.5</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46<sup>※4</sup></td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.1</td> <td>23直 約1.2</td> <td>3直 約0.47<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.6</td> <td>3直 約0.92</td> <td>-</td> <td>1直 約1.3<sup>※6</sup></td> <td>約5.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 本評価において想定した直交替スケジュールでは、7日目3直の班が中央制御室滞在中に、交替のために入城する1直勤務の班 (本評価では7日目1直の班と同じ班を想定) が入城を終了した時点で評価期間終了 (事象発生から168時間後) となる。本表では、評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理している。また、本表における7日目3直の被ばく線量は、7日目3直の班が中央制御室滞在中に評価期間終了となることから、入城及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量を示している。</p> <p>表 6-1-2 各勤務サイクルでの被ばく線量 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合) (単位: mSv) ※1※2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約7.1<sup>※3</sup></td> <td>23直 約4.8</td> <td>3直 約2.3</td> <td>-</td> <td>1直 約3.2</td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>約21</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約6.0<sup>※3</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約3.8</td> <td>1直 約3.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.0</td> <td>約16</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約520<sup>※3</sup></td> <td>1直 約4.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.4</td> <td>23直 約3.1</td> <td>3直 約1.2<sup>※4</sup></td> <td>約530</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約3.0</td> <td>23直 約3.8</td> <td>3直 約1.8</td> <td>-</td> <td>1直 約2.9<sup>※4</sup></td> <td>約12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※3 入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮                  ※4 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約2.7	3直 約1.4	-	1直 約1.3	1直 約1.2	-	約13	B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.9	1直 約1.5	-	-	2直 約0.87	約9.5	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約1.1	23直 約1.2	3直 約0.47 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.6	3直 約0.92	-	1直 約1.3 <sup>※6</sup>	約5.3		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約4.8	3直 約2.3	-	1直 約3.2	1直 約2.9	-	約21	B班	3直 約6.0 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.8	1直 約3.5	-	-	2直 約2.0	約16	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.6	-	-	2直 約2.4	23直 約3.1	3直 約1.2 <sup>※4</sup>	約530	E班	-	-	2直 約3.0	23直 約3.8	3直 約1.8	-	1直 約2.9 <sup>※4</sup>	約12	<p>表 6-1-1 各勤務サイクルでの被ばく線量 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合) (単位: mSv) ※1※2※3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約6.2<sup>※4</sup></td> <td>23直 約2.7</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.3</td> <td>1直 約1.2</td> <td>-</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3<sup>※4</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約1.9</td> <td>1直 約1.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.87</td> <td>約9.5</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46<sup>※4</sup></td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.1</td> <td>23直 約1.2</td> <td>3直 約0.47<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.6</td> <td>3直 約0.92</td> <td>-</td> <td>1直 約1.3<sup>※6</sup></td> <td>約5.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 本評価において想定した直交替スケジュールでは、7日目3直の班が中央制御室滞在中に、交替のために入城する1直勤務の班 (本評価では7日目1直の班と同じ班を想定) が入城を終了した時点で評価期間終了 (事象発生から168時間後) となる。本表では、評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理している。また、本表における7日目3直の被ばく線量は、7日目3直の班が中央制御室滞在中に評価期間終了となることから、入城及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量を示している。</p> <p>表 6-1-2 各勤務サイクルでの被ばく線量 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合) (単位: mSv) ※1※2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約7.1<sup>※3</sup></td> <td>23直 約4.8</td> <td>3直 約2.3</td> <td>-</td> <td>1直 約3.2</td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>約21</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約6.1<sup>※3</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約3.8</td> <td>1直 約3.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.0</td> <td>約16</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約520<sup>※3</sup></td> <td>1直 約4.6</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.4</td> <td>23直 約3.1</td> <td>3直 約1.2<sup>※4</sup></td> <td>約530</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約3.0</td> <td>23直 約3.8</td> <td>3直 約1.8</td> <td>-</td> <td>1直 約2.9<sup>※4</sup></td> <td>約12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※3 入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮                  ※4 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約2.7	3直 約1.4	-	1直 約1.3	1直 約1.2	-	約13	B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.9	1直 約1.5	-	-	2直 約0.87	約9.5	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約1.1	23直 約1.2	3直 約0.47 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.6	3直 約0.92	-	1直 約1.3 <sup>※6</sup>	約5.3		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約4.8	3直 約2.3	-	1直 約3.2	1直 約2.9	-	約21	B班	3直 約6.1 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.8	1直 約3.5	-	-	2直 約2.0	約16	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.6	-	-	2直 約2.4	23直 約3.1	3直 約1.2 <sup>※4</sup>	約530	E班	-	-	2直 約3.0	23直 約3.8	3直 約1.8	-	1直 約2.9 <sup>※4</sup>	約12	<p>評価点の適正化</p>
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約2.7	3直 約1.4	-	1直 約1.3	1直 約1.2	-	約13																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.9	1直 約1.5	-	-	2直 約0.87	約9.5																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約1.1	23直 約1.2	3直 約0.47 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.6	3直 約0.92	-	1直 約1.3 <sup>※6</sup>	約5.3																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約4.8	3直 約2.3	-	1直 約3.2	1直 約2.9	-	約21																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約6.0 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.8	1直 約3.5	-	-	2直 約2.0	約16																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.6	-	-	2直 約2.4	23直 約3.1	3直 約1.2 <sup>※4</sup>	約530																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約3.0	23直 約3.8	3直 約1.8	-	1直 約2.9 <sup>※4</sup>	約12																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約2.7	3直 約1.4	-	1直 約1.3	1直 約1.2	-	約13																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.9	1直 約1.5	-	-	2直 約0.87	約9.5																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約1.1	23直 約1.2	3直 約0.47 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.6	3直 約0.92	-	1直 約1.3 <sup>※6</sup>	約5.3																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約4.8	3直 約2.3	-	1直 約3.2	1直 約2.9	-	約21																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約6.1 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.8	1直 約3.5	-	-	2直 約2.0	約16																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.6	-	-	2直 約2.4	23直 約3.1	3直 約1.2 <sup>※4</sup>	約530																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約3.0	23直 約3.8	3直 約1.8	-	1直 約2.9 <sup>※4</sup>	約12																																																																																																																																																																																																																		
59-9-2-8	59-9-2-8																																																																																																																																																																																																																									



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																																																																																																																																																																																								
<p>表6-2-1 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合) (単位:mSv) ※1※2※3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約6.2<sup>※4</sup></td> <td>23直 約21</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.1</td> <td>1直 約0.84</td> <td>-</td> <td>約31</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3<sup>※4</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約1.8</td> <td>1直 約1.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.65</td> <td>約9.0</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46<sup>※4</sup></td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.88</td> <td>23直 約0.84</td> <td>3直 約0.34<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.3</td> <td>3直 約0.79</td> <td>-</td> <td>1直 約0.98<sup>※5</sup></td> <td>約4.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p> <p>表6-2-2 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合) (単位:mSv) ※1※2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約7.1<sup>※3</sup></td> <td>23直 約25</td> <td>3直 約2.0</td> <td>-</td> <td>1直 約1.6</td> <td>1直 約1.2</td> <td>-</td> <td>約37</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約6.0<sup>※3</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約3.0</td> <td>1直 約2.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.75</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約520<sup>※3</sup></td> <td>1直 約4.7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.2</td> <td>23直 約1.1</td> <td>3直 約0.39<sup>※4</sup></td> <td>約520</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.7</td> <td>23直 約2.2</td> <td>3直 約0.97</td> <td>-</td> <td>1直 約1.2<sup>※4</sup></td> <td>約7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※3 入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮                  ※4 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31	B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.6		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約25	3直 約2.0	-	1直 約1.6	1直 約1.2	-	約37	B班	3直 約6.0 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.0	1直 約2.4	-	-	2直 約0.75	約13	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.7	-	-	2直 約1.2	23直 約1.1	3直 約0.39 <sup>※4</sup>	約520	E班	-	-	2直 約2.7	23直 約2.2	3直 約0.97	-	1直 約1.2 <sup>※4</sup>	約7.0	<p>表6-2-1 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合) (単位:mSv) ※1※2※3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約6.2<sup>※4</sup></td> <td>23直 約21</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.1</td> <td>1直 約0.84</td> <td>-</td> <td>約31</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3<sup>※4</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約1.8</td> <td>1直 約1.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.65</td> <td>約9.0</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46<sup>※4</sup></td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.88</td> <td>23直 約0.84</td> <td>3直 約0.34<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.3</td> <td>3直 約0.79</td> <td>-</td> <td>1直 約0.98<sup>※5</sup></td> <td>約4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p> <p>表6-2-2 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合) (単位:mSv) ※1※2</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A班</td> <td>2直 約7.1<sup>※3</sup></td> <td>23直 約26</td> <td>3直 約2.0</td> <td>-</td> <td>1直 約1.6</td> <td>1直 約1.2</td> <td>-</td> <td>約37</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約6.1<sup>※3</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約3.0</td> <td>1直 約2.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.75</td> <td>約13</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約520<sup>※3</sup></td> <td>1直 約4.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.2</td> <td>23直 約1.1</td> <td>3直 約0.39<sup>※4</sup></td> <td>約520</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約2.7</td> <td>23直 約2.2</td> <td>3直 約0.97</td> <td>-</td> <td>1直 約1.2<sup>※4</sup></td> <td>約7.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※3 入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮                  ※4 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31	B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.7		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約26	3直 約2.0	-	1直 約1.6	1直 約1.2	-	約37	B班	3直 約6.1 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.0	1直 約2.4	-	-	2直 約0.75	約13	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.8	-	-	2直 約1.2	23直 約1.1	3直 約0.39 <sup>※4</sup>	約520	E班	-	-	2直 約2.7	23直 約2.2	3直 約0.97	-	1直 約1.2 <sup>※4</sup>	約7.0	<p>評価点の適正化</p> <p>評価点の適正化</p>
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.6																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約25	3直 約2.0	-	1直 約1.6	1直 約1.2	-	約37																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約6.0 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.0	1直 約2.4	-	-	2直 約0.75	約13																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.7	-	-	2直 約1.2	23直 約1.1	3直 約0.39 <sup>※4</sup>	約520																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約2.7	23直 約2.2	3直 約0.97	-	1直 約1.2 <sup>※4</sup>	約7.0																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約6.2 <sup>※4</sup>	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約5.3 <sup>※4</sup>	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約46 <sup>※4</sup>	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.7																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A班	2直 約7.1 <sup>※3</sup>	23直 約26	3直 約2.0	-	1直 約1.6	1直 約1.2	-	約37																																																																																																																																																																																																																		
B班	3直 約6.1 <sup>※3</sup>	-	1直 約3.0	1直 約2.4	-	-	2直 約0.75	約13																																																																																																																																																																																																																		
C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D班	1直 約520 <sup>※3</sup>	1直 約4.8	-	-	2直 約1.2	23直 約1.1	3直 約0.39 <sup>※4</sup>	約520																																																																																																																																																																																																																		
E班	-	-	2直 約2.7	23直 約2.2	3直 約0.97	-	1直 約1.2 <sup>※4</sup>	約7.0																																																																																																																																																																																																																		
59-9-2-9	59-9-2-9																																																																																																																																																																																																																									



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																																																																																																																																																																																								
<p>表 6-3 各勤務サイクルでの被ばく線量（参考） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果を DF=1 とした場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合）（単位：mSv）<sup>*1)*2)*3)</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 班</td> <td>2直 約 8.7<sup>*4)</sup></td> <td>23直 約 5.2</td> <td>3直 約 3.0</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.1</td> <td>1直 約 2.8</td> <td>-</td> <td>約 23</td> </tr> <tr> <td>B 班</td> <td>3直 約 7.5<sup>*4)</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約 4.0</td> <td>1直 約 3.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.2</td> <td>約 17</td> </tr> <tr> <td>C 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D 班</td> <td>1直 約 55<sup>*4)</sup></td> <td>1直 約 5.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.6</td> <td>23直 約 2.9</td> <td>3直 約 1.2<sup>*5)</sup></td> <td>約 66</td> </tr> <tr> <td>E 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 3.4</td> <td>23直 約 3.6</td> <td>3直 約 2.3</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.3<sup>*5)</sup></td> <td>約 13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク（PF=50）の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク（PF=50）の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク（PF=1,000）の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在（評価期間終了まで）に伴う被ばく線量（表6-1-1の※5を参照）</p> <p>表 6-4 各勤務サイクルでの被ばく線量（参考） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合） （原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果を DF=1 とした場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合）（単位：mSv）<sup>*1)*2)*3)</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 班</td> <td>2直 約 8.7<sup>*4)</sup></td> <td>23直 約 24</td> <td>3直 約 3.0</td> <td>-</td> <td>1直 約 2.8</td> <td>1直 約 2.5</td> <td>-</td> <td>約 41</td> </tr> <tr> <td>B 班</td> <td>3直 約 7.5<sup>*4)</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約 3.3</td> <td>1直 約 3.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.0</td> <td>約 16</td> </tr> <tr> <td>C 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D 班</td> <td>1直 約 55<sup>*4)</sup></td> <td>1直 約 5.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.1</td> <td>23直 約 2.6</td> <td>3直 約 1.1<sup>*5)</sup></td> <td>約 66</td> </tr> <tr> <td>E 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 3.5</td> <td>23直 約 3.3</td> <td>3直 約 2.2</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.0<sup>*5)</sup></td> <td>約 12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク（PF=50）の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク（PF=50）の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク（PF=1,000）の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在（評価期間終了まで）に伴う被ばく線量（表6-1-1の※5を参照）</p> <p>59-9-2-10</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 5.2	3直 約 3.0	-	1直 約 3.1	1直 約 2.8	-	約 23	B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 4.0	1直 約 3.5	-	-	2直 約 2.2	約 17	C 班	-	-	-	-	-	-	-	0	D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.3	-	-	2直 約 2.6	23直 約 2.9	3直 約 1.2 <sup>*5)</sup>	約 66	E 班	-	-	2直 約 3.4	23直 約 3.6	3直 約 2.3	-	1直 約 3.3 <sup>*5)</sup>	約 13		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 24	3直 約 3.0	-	1直 約 2.8	1直 約 2.5	-	約 41	B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 3.3	1直 約 3.3	-	-	2直 約 2.0	約 16	C 班	-	-	-	-	-	-	-	0	D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.4	-	-	2直 約 2.1	23直 約 2.6	3直 約 1.1 <sup>*5)</sup>	約 66	E 班	-	-	2直 約 3.5	23直 約 3.3	3直 約 2.2	-	1直 約 3.0 <sup>*5)</sup>	約 12	<p>表 6-3 各勤務サイクルでの被ばく線量（参考） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果を DF=1 とした場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合）（単位：mSv）<sup>*1)*2)*3)</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 班</td> <td>2直 約 8.7<sup>*4)</sup></td> <td>23直 約 5.3</td> <td>3直 約 3.0</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.1</td> <td>1直 約 2.8</td> <td>-</td> <td>約 23</td> </tr> <tr> <td>B 班</td> <td>3直 約 7.5<sup>*4)</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約 4.1</td> <td>1直 約 3.5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.2</td> <td>約 18</td> </tr> <tr> <td>C 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D 班</td> <td>1直 約 55<sup>*4)</sup></td> <td>1直 約 5.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.7</td> <td>23直 約 3.0</td> <td>3直 約 1.2<sup>*5)</sup></td> <td>約 67</td> </tr> <tr> <td>E 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 3.4</td> <td>23直 約 3.6</td> <td>3直 約 2.3</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.3<sup>*5)</sup></td> <td>約 13</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク（PF=50）の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク（PF=50）の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク（PF=1,000）の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在（評価期間終了まで）に伴う被ばく線量（表6-1-1の※5を参照）</p> <p>表 6-4 各勤務サイクルでの被ばく線量（参考） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合） （原子炉格納容器からの漏えいに関するエアロゾル粒子の捕集効果を DF=1 とした場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮した場合）（単位：mSv）<sup>*1)*2)*3)</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日</th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 班</td> <td>2直 約 8.7<sup>*4)</sup></td> <td>23直 約 24</td> <td>3直 約 3.0</td> <td>-</td> <td>1直 約 2.9</td> <td>1直 約 2.5</td> <td>-</td> <td>約 41</td> </tr> <tr> <td>B 班</td> <td>3直 約 7.5<sup>*4)</sup></td> <td>-</td> <td>1直 約 3.3</td> <td>1直 約 3.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.0</td> <td>約 16</td> </tr> <tr> <td>C 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D 班</td> <td>1直 約 55<sup>*4)</sup></td> <td>1直 約 5.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 2.5</td> <td>23直 約 2.6</td> <td>3直 約 1.1<sup>*5)</sup></td> <td>約 66</td> </tr> <tr> <td>E 班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約 3.5</td> <td>23直 約 3.4</td> <td>3直 約 2.2</td> <td>-</td> <td>1直 約 3.0<sup>*5)</sup></td> <td>約 12</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク（PF=50）の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク（PF=50）の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク（PF=1,000）の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入城に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入城及び中央制御室滞在（評価期間終了まで）に伴う被ばく線量（表6-1-1の※5を参照）</p> <p>59-9-2-10</p>		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 5.3	3直 約 3.0	-	1直 約 3.1	1直 約 2.8	-	約 23	B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 4.1	1直 約 3.5	-	-	2直 約 2.2	約 18	C 班	-	-	-	-	-	-	-	0	D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.3	-	-	2直 約 2.7	23直 約 3.0	3直 約 1.2 <sup>*5)</sup>	約 67	E 班	-	-	2直 約 3.4	23直 約 3.6	3直 約 2.3	-	1直 約 3.3 <sup>*5)</sup>	約 13		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 24	3直 約 3.0	-	1直 約 2.9	1直 約 2.5	-	約 41	B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 3.3	1直 約 3.3	-	-	2直 約 2.0	約 16	C 班	-	-	-	-	-	-	-	0	D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.4	-	-	2直 約 2.5	23直 約 2.6	3直 約 1.1 <sup>*5)</sup>	約 66	E 班	-	-	2直 約 3.5	23直 約 3.4	3直 約 2.2	-	1直 約 3.0 <sup>*5)</sup>	約 12	<p>評価点の適正化</p> <p>評価点の適正化</p>
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 5.2	3直 約 3.0	-	1直 約 3.1	1直 約 2.8	-	約 23																																																																																																																																																																																																																		
B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 4.0	1直 約 3.5	-	-	2直 約 2.2	約 17																																																																																																																																																																																																																		
C 班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.3	-	-	2直 約 2.6	23直 約 2.9	3直 約 1.2 <sup>*5)</sup>	約 66																																																																																																																																																																																																																		
E 班	-	-	2直 約 3.4	23直 約 3.6	3直 約 2.3	-	1直 約 3.3 <sup>*5)</sup>	約 13																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 24	3直 約 3.0	-	1直 約 2.8	1直 約 2.5	-	約 41																																																																																																																																																																																																																		
B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 3.3	1直 約 3.3	-	-	2直 約 2.0	約 16																																																																																																																																																																																																																		
C 班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.4	-	-	2直 約 2.1	23直 約 2.6	3直 約 1.1 <sup>*5)</sup>	約 66																																																																																																																																																																																																																		
E 班	-	-	2直 約 3.5	23直 約 3.3	3直 約 2.2	-	1直 約 3.0 <sup>*5)</sup>	約 12																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 5.3	3直 約 3.0	-	1直 約 3.1	1直 約 2.8	-	約 23																																																																																																																																																																																																																		
B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 4.1	1直 約 3.5	-	-	2直 約 2.2	約 18																																																																																																																																																																																																																		
C 班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.3	-	-	2直 約 2.7	23直 約 3.0	3直 約 1.2 <sup>*5)</sup>	約 67																																																																																																																																																																																																																		
E 班	-	-	2直 約 3.4	23直 約 3.6	3直 約 2.3	-	1直 約 3.3 <sup>*5)</sup>	約 13																																																																																																																																																																																																																		
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																		
A 班	2直 約 8.7 <sup>*4)</sup>	23直 約 24	3直 約 3.0	-	1直 約 2.9	1直 約 2.5	-	約 41																																																																																																																																																																																																																		
B 班	3直 約 7.5 <sup>*4)</sup>	-	1直 約 3.3	1直 約 3.3	-	-	2直 約 2.0	約 16																																																																																																																																																																																																																		
C 班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																		
D 班	1直 約 55 <sup>*4)</sup>	1直 約 5.4	-	-	2直 約 2.5	23直 約 2.6	3直 約 1.1 <sup>*5)</sup>	約 66																																																																																																																																																																																																																		
E 班	-	-	2直 約 3.5	23直 約 3.4	3直 約 2.2	-	1直 約 3.0 <sup>*5)</sup>	約 12																																																																																																																																																																																																																		

重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																										
<p>表 7-1-1 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="341 556 1083 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>2.7 \times 10^1</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>4.6 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^1</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-11</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.7 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $4.6 \times 10^1$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$	<p>表 7-1-1 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="1587 556 2329 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>2.7 \times 10^1</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>4.6 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^1</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-11</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.7 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $4.6 \times 10^1$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.7 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $4.6 \times 10^1$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$																																																											
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.7 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $4.6 \times 10^1$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$																																																											



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																										
<p>表 7-1-2 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="341 556 1083 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.0 \times 10^2</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-12</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.1 \times 10^2$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^2$	<p>表 7-1-2 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="1587 556 2329 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.0 \times 10^2</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.3 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-12</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.1 \times 10^2$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^2$	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.1 \times 10^2$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^2$																																																											
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.1 \times 10^2$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.4 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.1 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.3 \times 10^2$																																																											



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																										
<p>表 7-2-1 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を取束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="341 556 1080 1360"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>2.6 \times 10^1</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>4.5 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^1</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.6 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $4.5 \times 10^1$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$	<p>表 7-2-1 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を取束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="1584 556 2323 1360"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>2.6 \times 10^1</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>4.5 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.1 \times 10^1</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.6 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $4.5 \times 10^1$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.6 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $4.5 \times 10^1$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$																																																											
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.2 \times 10^1$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $2.6 \times 10^1$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $4.5 \times 10^1$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.1 \times 10^1$																																																											
59-9-2-13	59-9-2-13																																																											



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																																																										
<p>表 7-2-2 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を取束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="341 556 1083 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>5.0 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.0 \times 10^2</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-14</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.0 \times 10^2$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.2 \times 10^2$	<p>表 7-2-2 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班（D班）の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を取束する場合） （中央制御室内でマスクの着用を考慮しない場合）（単位：mSv）</p> <table border="1" data-bbox="1587 556 2329 1354"> <thead> <tr> <th colspan="2">被ばく経路</th> <th>7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>5.0 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.0 \times 10^2</math>) (約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>5.2 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量</p> <p>59-9-2-14</p>	被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.0 \times 10^2$	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.2 \times 10^2$	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.7 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.0 \times 10^2$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.2 \times 10^2$																																																											
被ばく経路		7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																										
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.1 \times 10^{-2}$																																																										
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.0 \times 10^0$																																																										
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $6.8 \times 10^0$																																																										
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $5.0 \times 10^2$																																																										
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 $5.0 \times 10^2$ ) (約 $5.6 \times 10^0$ )																																																										
	小計 (①+②+③+④)	約 $5.2 \times 10^2$																																																										
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-1}$																																																										
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$																																																										
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 $5.2 \times 10^0$																																																										
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$																																																										
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.4 \times 10^0$																																																										
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $5.2 \times 10^2$																																																											



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前				修正後				備考																																																																		
<p>表 2-15-7 グランドシャインガンマ線による被ばくの評価結果 (代替循環冷却系を用いて事象収束に成功する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価位置</th> <th>線源</th> <th>積算日数</th> <th>実効線量[mSv]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央制御室滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>8.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入退域時</td> <td>出入管理所</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>4.6 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>制御建屋出入口</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>6.9 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table>				評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]	中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.4 \times 10^0$	屋上沈着分	7日	約 $2.9 \times 10^0$	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$	入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.6 \times 10^2$	制御建屋出入口	合計	7日	約 $6.9 \times 10^2$	<p>表 2-15-7 グランドシャインガンマ線による被ばくの評価結果 (代替循環冷却系を用いて事象収束に成功する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価位置</th> <th>線源</th> <th>積算日数</th> <th>実効線量[mSv]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央制御室滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>8.4 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>3.0 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入退域時</td> <td>出入管理所</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>4.6 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>制御建屋出入口</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>6.9 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table>				評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]	中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.4 \times 10^0$	屋上沈着分	7日	約 $3.0 \times 10^0$	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$	入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.6 \times 10^2$	制御建屋出入口	合計	7日	約 $6.9 \times 10^2$	評価点の適正化																				
評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]																																																																							
中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.4 \times 10^0$																																																																							
	屋上沈着分	7日	約 $2.9 \times 10^0$																																																																							
	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$																																																																							
入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.6 \times 10^2$																																																																						
	制御建屋出入口	合計	7日	約 $6.9 \times 10^2$																																																																						
評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]																																																																							
中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.4 \times 10^0$																																																																							
	屋上沈着分	7日	約 $3.0 \times 10^0$																																																																							
	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$																																																																							
入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.6 \times 10^2$																																																																						
	制御建屋出入口	合計	7日	約 $6.9 \times 10^2$																																																																						
<p>表 2-15-8 グランドシャインガンマ線による被ばくの評価結果 (格納容器ベントを実施する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価位置</th> <th>線源</th> <th>積算日数</th> <th>実効線量[mSv]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央制御室滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>8.5 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中央制御室待避所滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>4.3 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入退域時</td> <td>出入管理所</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>4.7 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>制御建屋出入口</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>7.1 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table>				評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]	中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.5 \times 10^0$	屋上沈着分	7日	約 $2.9 \times 10^0$	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$	中央制御室待避所滞在時	地表面沈着分	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$	屋上沈着分	10時間	約 $4.3 \times 10^{-3}$	合計	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$	入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.7 \times 10^2$	制御建屋出入口	合計	7日	約 $7.1 \times 10^2$	<p>表 2-15-8 グランドシャインガンマ線による被ばくの評価結果 (格納容器ベントを実施する場合)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価位置</th> <th>線源</th> <th>積算日数</th> <th>実効線量[mSv]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中央制御室滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>8.5 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>7日</td> <td>約 <math>3.1 \times 10^0</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^1</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中央制御室待避所滞在時</td> <td>地表面沈着分</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td>屋上沈着分</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>4.3 \times 10^{-3}</math></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10時間</td> <td>約 <math>2.9 \times 10^{-1}</math></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入退域時</td> <td>出入管理所</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>4.7 \times 10^2</math></td> </tr> <tr> <td>制御建屋出入口</td> <td>合計</td> <td>7日</td> <td>約 <math>7.1 \times 10^2</math></td> </tr> </tbody> </table>				評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]	中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.5 \times 10^0$	屋上沈着分	7日	約 $3.1 \times 10^0$	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$	中央制御室待避所滞在時	地表面沈着分	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$	屋上沈着分	10時間	約 $4.3 \times 10^{-3}$	合計	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$	入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.7 \times 10^2$	制御建屋出入口	合計	7日	約 $7.1 \times 10^2$	評価点の適正化
評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]																																																																							
中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.5 \times 10^0$																																																																							
	屋上沈着分	7日	約 $2.9 \times 10^0$																																																																							
	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$																																																																							
中央制御室待避所滞在時	地表面沈着分	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$																																																																							
	屋上沈着分	10時間	約 $4.3 \times 10^{-3}$																																																																							
	合計	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$																																																																							
入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.7 \times 10^2$																																																																						
	制御建屋出入口	合計	7日	約 $7.1 \times 10^2$																																																																						
評価位置	線源	積算日数	実効線量[mSv]																																																																							
中央制御室滞在時	地表面沈着分	7日	約 $8.5 \times 10^0$																																																																							
	屋上沈着分	7日	約 $3.1 \times 10^0$																																																																							
	合計	7日	約 $1.2 \times 10^1$																																																																							
中央制御室待避所滞在時	地表面沈着分	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$																																																																							
	屋上沈着分	10時間	約 $4.3 \times 10^{-3}$																																																																							
	合計	10時間	約 $2.9 \times 10^{-1}$																																																																							
入退域時	出入管理所	合計	7日	約 $4.7 \times 10^2$																																																																						
	制御建屋出入口	合計	7日	約 $7.1 \times 10^2$																																																																						
59-9-添 2-15-13				59-9-添 2-15-13																																																																						

重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前	修正後	備考																								
<p>表 2-20-1 マスク着用なし、運転員交替なしの場合の評価結果<sup>*1)*2)</sup></p> <table border="1" data-bbox="299 485 1118 621"> <thead> <tr> <th>(mSv/7日間)</th> <th>内部被ばく</th> <th>外部被ばく</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 LOCA (代替循環)</td> <td>約 5.2×10<sup>2</sup></td> <td>約 2.4×10<sup>1</sup></td> <td>約 5.5×10<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>DCH (代替循環)</td> <td>約 4.8×10<sup>1</sup></td> <td>約 1.1×10<sup>0</sup></td> <td>約 4.9×10<sup>1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 大 LOCA (代替循環) : 大破断 LOCA+HPCS 失敗+低圧 ECCS 失敗+全交流動力電源喪失 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) ※2 DCH (代替循環) : DCH (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合)</p> <p>2. 入退域を考慮した場合の評価結果 (7日間積算値 (1班あたりの平均))</p> <p>1. のとおり、中央制御室内環境としては大 LOCA(代替循環)の方が厳しいことを確認したが、中央制御室の運転員は通常 5 直 3 交替体制であり、炉心の著しい損傷が発生した場合においても交替することが想定されるため、交替の際の入退域時に屋外を通ることによる被ばくを含め、平均的な被ばく線量を確認した。</p> <p>1. 同様に、大 LOCA(代替循環)と DCH の両シナリオにおいて、中央制御室内でのマスク着用には期待しないが、運転員の交替を平均的に考慮して評価する。5 直 3 交替体制において、中央制御室滞在時間及び入退域回数が最大となる班は 中央制御室滞在時間 49 時間 40 分 入退域回数 10 回 (1 回あたり 12 分)</p> <p>であるため、 中央制御室内での被ばく線量 ＝中央制御室内での被ばく線量 7 日間積算値× (49 時間 40 分/168 時間) 入退域時の被ばく線量 ＝入退域評価点での被ばく線量 7 日間積算値× (10 回×12 分/168 時間)</p> <p>として評価する。ただし、入退域においては審査ガイドに基づきマスク (1 日目は PF1000, 2 日目以降は PF50) を着用するものとして評価する。評価結果を表 2-20-2 に示す。</p> <p>表 2-20-2 のとおり、内部被ばく及び外部被ばくともに大 LOCA(代替循環)が大きい評価結果となった。すなわち、入退域時の屋外通過影響を考慮した場合においても、1 班あたりの平均的な環境としては大 LOCA(代替循環)の方が厳しくなることを確認した。</p> <p>59-9-添 2-20-2</p>	(mSv/7日間)	内部被ばく	外部被ばく	合計	大 LOCA (代替循環)	約 5.2×10 <sup>2</sup>	約 2.4×10 <sup>1</sup>	約 5.5×10 <sup>2</sup>	DCH (代替循環)	約 4.8×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>0</sup>	約 4.9×10 <sup>1</sup>	<p>表 2-20-1 マスク着用なし、運転員交替なしの場合の評価結果<sup>*1)*2)</sup></p> <table border="1" data-bbox="1546 485 2365 621"> <thead> <tr> <th>(mSv/7日間)</th> <th>内部被ばく</th> <th>外部被ばく</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 LOCA (代替循環)</td> <td>約 5.2×10<sup>2</sup></td> <td>約 2.5×10<sup>1</sup></td> <td>約 5.5×10<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>DCH (代替循環)</td> <td>約 4.8×10<sup>1</sup></td> <td>約 1.1×10<sup>0</sup></td> <td>約 4.9×10<sup>1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 大 LOCA (代替循環) : 大破断 LOCA+HPCS 失敗+低圧 ECCS 失敗+全交流動力電源喪失 (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) ※2 DCH (代替循環) : DCH (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合)</p> <p>2. 入退域を考慮した場合の評価結果 (7日間積算値 (1班あたりの平均))</p> <p>1. のとおり、中央制御室内環境としては大 LOCA(代替循環)の方が厳しいことを確認したが、中央制御室の運転員は通常 5 直 3 交替体制であり、炉心の著しい損傷が発生した場合においても交替することが想定されるため、交替の際の入退域時に屋外を通ることによる被ばくを含め、平均的な被ばく線量を確認した。</p> <p>1. 同様に、大 LOCA(代替循環)と DCH の両シナリオにおいて、中央制御室内でのマスク着用には期待しないが、運転員の交替を平均的に考慮して評価する。5 直 3 交替体制において、中央制御室滞在時間及び入退域回数が最大となる班は 中央制御室滞在時間 49 時間 40 分 入退域回数 10 回 (1 回あたり 12 分)</p> <p>であるため、 中央制御室内での被ばく線量 ＝中央制御室内での被ばく線量 7 日間積算値× (49 時間 40 分/168 時間) 入退域時の被ばく線量 ＝入退域評価点での被ばく線量 7 日間積算値× (10 回×12 分/168 時間)</p> <p>として評価する。ただし、入退域においては審査ガイドに基づきマスク (1 日目は PF1000, 2 日目以降は PF50) を着用するものとして評価する。評価結果を表 2-20-2 に示す。</p> <p>表 2-20-2 のとおり、内部被ばく及び外部被ばくともに大 LOCA(代替循環)が大きい評価結果となった。すなわち、入退域時の屋外通過影響を考慮した場合においても、1 班あたりの平均的な環境としては大 LOCA(代替循環)の方が厳しくなることを確認した。</p> <p>59-9-添 2-20-2</p>	(mSv/7日間)	内部被ばく	外部被ばく	合計	大 LOCA (代替循環)	約 5.2×10 <sup>2</sup>	約 2.5×10 <sup>1</sup>	約 5.5×10 <sup>2</sup>	DCH (代替循環)	約 4.8×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>0</sup>	約 4.9×10 <sup>1</sup>	<p>評価点の適正化</p>
(mSv/7日間)	内部被ばく	外部被ばく	合計																							
大 LOCA (代替循環)	約 5.2×10 <sup>2</sup>	約 2.4×10 <sup>1</sup>	約 5.5×10 <sup>2</sup>																							
DCH (代替循環)	約 4.8×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>0</sup>	約 4.9×10 <sup>1</sup>																							
(mSv/7日間)	内部被ばく	外部被ばく	合計																							
大 LOCA (代替循環)	約 5.2×10 <sup>2</sup>	約 2.5×10 <sup>1</sup>	約 5.5×10 <sup>2</sup>																							
DCH (代替循環)	約 4.8×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>0</sup>	約 4.9×10 <sup>1</sup>																							



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前		修正後		備考																																																																																																																								
<p>表 2-25-3 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を取束する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>ケース1<sup>※2</sup></th> <th>ケース2<sup>※2</sup></th> <th>ケース3<sup>※2</sup> （ベースケース）</th> </tr> <tr> <th>D班</th> <th>D班</th> <th>D班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 4.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 5.1×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.1×10<sup>0</sup></td> <td>約 7.0×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 2.6×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.3×10<sup>0</sup></td> <td>約 6.7×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.1×10<sup>3</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>2</sup></td> <td>約 3.2×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 9.5×10<sup>2</sup>) (約 6.3×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 1.5×10<sup>2</sup>) (約 6.8×10<sup>0</sup>)</td> <td>(約 2.7×10<sup>1</sup>) (約 5.6×10<sup>0</sup>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 1.1×10<sup>3</sup></td> <td>約 1.7×10<sup>2</sup></td> <td>約 4.6×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 2.2×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.2×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.4×10<sup>0</sup></td> <td>約 2.6×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.5×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.0×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.9×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.1×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 5.2×10<sup>0</sup></td> <td>約 1.0×10<sup>0</sup></td> <td>約 1.2×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 3.9×10<sup>1</sup></td> <td>約 8.3×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.3×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 1200</td> <td>約 180</td> <td>約 51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量          ※2 ケース1：原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース          ケース2：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース          ケース3：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>		被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>			ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）	D班	D班	D班	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 5.1×10 <sup>1</sup>	約 6.1×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.6×10 <sup>1</sup>	約 6.3×10 <sup>0</sup>	約 6.7×10 <sup>0</sup>	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 9.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.3×10 <sup>1</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.8×10 <sup>0</sup> )	(約 2.7×10 <sup>1</sup> ) (約 5.6×10 <sup>0</sup> )	小計 (①+②+③+④)	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.6×10 <sup>1</sup>	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 1.4×10 <sup>-1</sup>	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 2.6×10 <sup>-1</sup>	約 2.5×10 <sup>-2</sup>	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.0×10 <sup>1</sup>	約 6.9×10 <sup>0</sup>	約 5.1×10 <sup>0</sup>	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.2×10 <sup>0</sup>	約 1.0×10 <sup>0</sup>	約 1.2×10 <sup>-2</sup>	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 3.9×10 <sup>1</sup>	約 8.3×10 <sup>0</sup>	約 5.3×10 <sup>0</sup>	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1200	約 180	約 51	<p>表 2-25-3 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班の合計） （代替循環冷却系を用いて事象を取束する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>ケース1<sup>※2</sup></th> <th>ケース2<sup>※2</sup></th> <th>ケース3<sup>※2</sup> （ベースケース）</th> </tr> <tr> <th>D班</th> <th>D班</th> <th>D班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 4.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.5×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 5.1×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.1×10<sup>0</sup></td> <td>約 7.0×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 2.6×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.4×10<sup>0</sup></td> <td>約 6.8×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.1×10<sup>3</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>2</sup></td> <td>約 3.2×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく 外部被ばく</td> <td>(約 9.5×10<sup>2</sup>) (約 6.3×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 1.5×10<sup>2</sup>) (約 6.8×10<sup>0</sup>)</td> <td>(約 2.7×10<sup>1</sup>) (約 5.6×10<sup>0</sup>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 1.1×10<sup>3</sup></td> <td>約 1.7×10<sup>2</sup></td> <td>約 4.6×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 2.2×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.2×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.4×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.4×10<sup>0</sup></td> <td>約 2.6×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.5×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.0×10<sup>1</sup></td> <td>約 6.9×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.1×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 5.2×10<sup>0</sup></td> <td>約 1.0×10<sup>0</sup></td> <td>約 1.2×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 3.9×10<sup>1</sup></td> <td>約 8.3×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.3×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 1200</td> <td>約 180</td> <td>約 51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量          ※2 ケース1：原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース          ケース2：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース          ケース3：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>		被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>			ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）	D班	D班	D班	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 5.1×10 <sup>1</sup>	約 6.1×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.6×10 <sup>1</sup>	約 6.4×10 <sup>0</sup>	約 6.8×10 <sup>0</sup>	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 9.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.3×10 <sup>1</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.8×10 <sup>0</sup> )	(約 2.7×10 <sup>1</sup> ) (約 5.6×10 <sup>0</sup> )	小計 (①+②+③+④)	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.6×10 <sup>1</sup>	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 1.4×10 <sup>-1</sup>	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 2.6×10 <sup>-1</sup>	約 2.5×10 <sup>-2</sup>	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.0×10 <sup>1</sup>	約 6.9×10 <sup>0</sup>	約 5.1×10 <sup>0</sup>	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.2×10 <sup>0</sup>	約 1.0×10 <sup>0</sup>	約 1.2×10 <sup>-2</sup>	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 3.9×10 <sup>1</sup>	約 8.3×10 <sup>0</sup>	約 5.3×10 <sup>0</sup>	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1200	約 180	約 51	評価点の適正化
被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																																																																																											
	ケース1 <sup>※2</sup>		ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）																																																																																																																								
	D班	D班	D班																																																																																																																									
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 5.1×10 <sup>1</sup>	約 6.1×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.6×10 <sup>1</sup>	約 6.3×10 <sup>0</sup>	約 6.7×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>																																																																																																																								
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 9.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.3×10 <sup>1</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.8×10 <sup>0</sup> )	(約 2.7×10 <sup>1</sup> ) (約 5.6×10 <sup>0</sup> )																																																																																																																								
	小計 (①+②+③+④)	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.6×10 <sup>1</sup>																																																																																																																								
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 1.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																								
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 2.6×10 <sup>-1</sup>	約 2.5×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.0×10 <sup>1</sup>	約 6.9×10 <sup>0</sup>	約 5.1×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.2×10 <sup>0</sup>	約 1.0×10 <sup>0</sup>	約 1.2×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 3.9×10 <sup>1</sup>	約 8.3×10 <sup>0</sup>	約 5.3×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1200	約 180	約 51																																																																																																																									
被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																																																																																											
	ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）																																																																																																																									
	D班	D班	D班																																																																																																																									
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.5×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 5.1×10 <sup>1</sup>	約 6.1×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.6×10 <sup>1</sup>	約 6.4×10 <sup>0</sup>	約 6.8×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>																																																																																																																								
	(内訳) 内部被ばく 外部被ばく	(約 9.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.3×10 <sup>1</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> ) (約 6.8×10 <sup>0</sup> )	(約 2.7×10 <sup>1</sup> ) (約 5.6×10 <sup>0</sup> )																																																																																																																								
	小計 (①+②+③+④)	約 1.1×10 <sup>3</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.6×10 <sup>1</sup>																																																																																																																								
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 2.2×10 <sup>-1</sup>	約 1.4×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																								
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 2.6×10 <sup>-1</sup>	約 2.5×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.0×10 <sup>1</sup>	約 6.9×10 <sup>0</sup>	約 5.1×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 5.2×10 <sup>0</sup>	約 1.0×10 <sup>0</sup>	約 1.2×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																								
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 3.9×10 <sup>1</sup>	約 8.3×10 <sup>0</sup>	約 5.3×10 <sup>0</sup>																																																																																																																								
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1200	約 180	約 51																																																																																																																									
59-9-添 2-25-5	59-9-添 2-25-5																																																																																																																											



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前		修正後		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>表 2-25-4 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)<sup>※1※2※3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日<sup>※1</sup></th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ケース1<sup>※6</sup></td> <td>A班</td> <td>2直 約140</td> <td>23直 約850</td> <td>3直 約6.7</td> <td>-</td> <td>1直 約4.8</td> <td>1直 約4.1</td> <td>-</td> <td>約1000</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約99</td> <td>-</td> <td>1直 約7.1</td> <td>1直 約5.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約3.4</td> <td>約120</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約290</td> <td>1直 約540</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約4.4</td> <td>23直 約4.2</td> <td>3直 約1.8<sup>※5</sup></td> <td>約830</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約7.3</td> <td>23直 約5.9</td> <td>3直 約4.1</td> <td>-</td> <td>1直 約5.1<sup>※5</sup></td> <td>約23</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ケース2<sup>※6</sup></td> <td>A班</td> <td>2直 約11</td> <td>23直 約120</td> <td>3直 約19</td> <td>-</td> <td>1直 約23</td> <td>1直 約16</td> <td>-</td> <td>約180</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約9.2</td> <td>-</td> <td>1直 約18</td> <td>1直 約33</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約7.1</td> <td>約67</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約40</td> <td>1直 約44</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約14</td> <td>23直 約15</td> <td>3直 約3.9<sup>※5</sup></td> <td>約120</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約31</td> <td>23直 約31</td> <td>3直 約8.9</td> <td>-</td> <td>1直 約12<sup>※5</sup></td> <td>約82</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ケース3<sup>※6</sup> ベースケース</td> <td>A班</td> <td>2直 約6.2</td> <td>23直 約21</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.1</td> <td>1直 約0.84</td> <td>-</td> <td>約31</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3</td> <td>-</td> <td>1直 約1.8</td> <td>1直 約1.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.65</td> <td>約9.0</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46</td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.88</td> <td>23直 約0.84</td> <td>3直 約0.34<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.3</td> <td>3直 約0.79</td> <td>-</td> <td>1直 約0.98<sup>※5</sup></td> <td>約4.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)                  ※6 ケース1: 原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース                  ケース2: 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース                  ケース3: 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>			1日 <sup>※1</sup>	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	ケース1 <sup>※6</sup>	A班	2直 約140	23直 約850	3直 約6.7	-	1直 約4.8	1直 約4.1	-	約1000	B班	3直 約99	-	1直 約7.1	1直 約5.9	-	-	2直 約3.4	約120	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約290	1直 約540	-	-	2直 約4.4	23直 約4.2	3直 約1.8 <sup>※5</sup>	約830	E班	-	-	2直 約7.3	23直 約5.9	3直 約4.1	-	1直 約5.1 <sup>※5</sup>	約23	ケース2 <sup>※6</sup>	A班	2直 約11	23直 約120	3直 約19	-	1直 約23	1直 約16	-	約180	B班	3直 約9.2	-	1直 約18	1直 約33	-	-	2直 約7.1	約67	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約40	1直 約44	-	-	2直 約14	23直 約15	3直 約3.9 <sup>※5</sup>	約120	E班	-	-	2直 約31	23直 約31	3直 約8.9	-	1直 約12 <sup>※5</sup>	約82	ケース3 <sup>※6</sup> ベースケース	A班	2直 約6.2	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31	B班	3直 約5.3	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.6	<p>表 2-25-4 各勤務サイクルでの被ばく線量 (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)<sup>※1※2※3</sup></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日<sup>※1</sup></th> <th>2日</th> <th>3日</th> <th>4日</th> <th>5日</th> <th>6日</th> <th>7日</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">ケース1<sup>※6</sup></td> <td>A班</td> <td>2直 約140</td> <td>23直 約850</td> <td>3直 約6.7</td> <td>-</td> <td>1直 約4.8</td> <td>1直 約4.1</td> <td>-</td> <td>約1000</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約99</td> <td>-</td> <td>1直 約7.1</td> <td>1直 約6.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約3.4</td> <td>約120</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約290</td> <td>1直 約540</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約4.4</td> <td>23直 約4.2</td> <td>3直 約1.8<sup>※5</sup></td> <td>約830</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約7.3</td> <td>23直 約5.9</td> <td>3直 約4.1</td> <td>-</td> <td>1直 約5.1<sup>※5</sup></td> <td>約23</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ケース2<sup>※6</sup></td> <td>A班</td> <td>2直 約11</td> <td>23直 約120</td> <td>3直 約19</td> <td>-</td> <td>1直 約23</td> <td>1直 約16</td> <td>-</td> <td>約180</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約9.2</td> <td>-</td> <td>1直 約18</td> <td>1直 約33</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約7.1</td> <td>約67</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約40</td> <td>1直 約44</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約14</td> <td>23直 約15</td> <td>3直 約3.9<sup>※5</sup></td> <td>約120</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約31</td> <td>23直 約31</td> <td>3直 約8.9</td> <td>-</td> <td>1直 約12<sup>※5</sup></td> <td>約82</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">ケース3<sup>※6</sup> ベースケース</td> <td>A班</td> <td>2直 約6.2</td> <td>23直 約21</td> <td>3直 約1.4</td> <td>-</td> <td>1直 約1.1</td> <td>1直 約0.84</td> <td>-</td> <td>約31</td> </tr> <tr> <td>B班</td> <td>3直 約5.3</td> <td>-</td> <td>1直 約1.8</td> <td>1直 約1.4</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.65</td> <td>約9.0</td> </tr> <tr> <td>C班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D班</td> <td>1直 約46</td> <td>1直 約2.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約0.88</td> <td>23直 約0.84</td> <td>3直 約0.34<sup>※5</sup></td> <td>約51</td> </tr> <tr> <td>E班</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2直 約1.6</td> <td>23直 約1.3</td> <td>3直 約0.79</td> <td>-</td> <td>1直 約0.98<sup>※5</sup></td> <td>約4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 入退城時においてマスク (PF=50) の着用を考慮                  ※2 中央制御室内でマスク (PF=50) の着用を考慮。6時間当たり1時間外すものとして評価                  ※3 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量                  ※4 中央制御室内及び入退城時において事故後1日目のみマスク (PF=1,000) の着用を考慮。中央制御室内は6時間当たり18分間外すものとして評価                  ※5 評価期間終了直前の入域に伴う被ばく線量は、7日目1直の被ばく線量に加えて整理。7日目3直の被ばく線量は、入域及び中央制御室滞在 (評価期間終了まで) に伴う被ばく線量 (表6-1-1の※5を参照)                  ※6 ケース1: 原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース                  ケース2: 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース                  ケース3: 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>			1日 <sup>※1</sup>	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計	ケース1 <sup>※6</sup>	A班	2直 約140	23直 約850	3直 約6.7	-	1直 約4.8	1直 約4.1	-	約1000	B班	3直 約99	-	1直 約7.1	1直 約6.0	-	-	2直 約3.4	約120	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約290	1直 約540	-	-	2直 約4.4	23直 約4.2	3直 約1.8 <sup>※5</sup>	約830	E班	-	-	2直 約7.3	23直 約5.9	3直 約4.1	-	1直 約5.1 <sup>※5</sup>	約23	ケース2 <sup>※6</sup>	A班	2直 約11	23直 約120	3直 約19	-	1直 約23	1直 約16	-	約180	B班	3直 約9.2	-	1直 約18	1直 約33	-	-	2直 約7.1	約67	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約40	1直 約44	-	-	2直 約14	23直 約15	3直 約3.9 <sup>※5</sup>	約120	E班	-	-	2直 約31	23直 約31	3直 約8.9	-	1直 約12 <sup>※5</sup>	約82	ケース3 <sup>※6</sup> ベースケース	A班	2直 約6.2	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31	B班	3直 約5.3	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0	C班	-	-	-	-	-	-	-	0	D班	1直 約46	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.7	評価点の適正化
	1日 <sup>※1</sup>	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ケース1 <sup>※6</sup>	A班	2直 約140	23直 約850	3直 約6.7	-	1直 約4.8	1直 約4.1	-	約1000																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約99	-	1直 約7.1	1直 約5.9	-	-	2直 約3.4	約120																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約290	1直 約540	-	-	2直 約4.4	23直 約4.2	3直 約1.8 <sup>※5</sup>	約830																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約7.3	23直 約5.9	3直 約4.1	-	1直 約5.1 <sup>※5</sup>	約23																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケース2 <sup>※6</sup>	A班	2直 約11	23直 約120	3直 約19	-	1直 約23	1直 約16	-	約180																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約9.2	-	1直 約18	1直 約33	-	-	2直 約7.1	約67																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約40	1直 約44	-	-	2直 約14	23直 約15	3直 約3.9 <sup>※5</sup>	約120																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約31	23直 約31	3直 約8.9	-	1直 約12 <sup>※5</sup>	約82																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケース3 <sup>※6</sup> ベースケース	A班	2直 約6.2	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約5.3	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約46	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	1日 <sup>※1</sup>	2日	3日	4日	5日	6日	7日	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
ケース1 <sup>※6</sup>	A班	2直 約140	23直 約850	3直 約6.7	-	1直 約4.8	1直 約4.1	-	約1000																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約99	-	1直 約7.1	1直 約6.0	-	-	2直 約3.4	約120																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約290	1直 約540	-	-	2直 約4.4	23直 約4.2	3直 約1.8 <sup>※5</sup>	約830																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約7.3	23直 約5.9	3直 約4.1	-	1直 約5.1 <sup>※5</sup>	約23																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケース2 <sup>※6</sup>	A班	2直 約11	23直 約120	3直 約19	-	1直 約23	1直 約16	-	約180																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約9.2	-	1直 約18	1直 約33	-	-	2直 約7.1	約67																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約40	1直 約44	-	-	2直 約14	23直 約15	3直 約3.9 <sup>※5</sup>	約120																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約31	23直 約31	3直 約8.9	-	1直 約12 <sup>※5</sup>	約82																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
ケース3 <sup>※6</sup> ベースケース	A班	2直 約6.2	23直 約21	3直 約1.4	-	1直 約1.1	1直 約0.84	-	約31																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	B班	3直 約5.3	-	1直 約1.8	1直 約1.4	-	-	2直 約0.65	約9.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	C班	-	-	-	-	-	-	-	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	D班	1直 約46	1直 約2.9	-	-	2直 約0.88	23直 約0.84	3直 約0.34 <sup>※5</sup>	約51																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	E班	-	-	2直 約1.6	23直 約1.3	3直 約0.79	-	1直 約0.98 <sup>※5</sup>	約4.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
59-9-添2-25-6		59-9-添2-25-6																																																																																																																																																																																																																																																																																																								



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前		修正後		備考																																																																																																																																
<p>表 2-25-5 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>ケース1<sup>※2</sup></th> <th>ケース2<sup>※2</sup></th> <th>ケース3<sup>※2</sup> （ベースケース）</th> </tr> <tr> <th>A班</th> <th>A班</th> <th>D班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 2.2×10<sup>1</sup></td> <td>約 7.6×10<sup>0</sup></td> <td>約 7.0×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.4×10<sup>1</sup></td> <td>約 3.4×10<sup>0</sup></td> <td>約 6.7×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 9.2×10<sup>2</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>2</sup></td> <td>約 3.2×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 8.8×10<sup>2</sup>)</td> <td>(約 1.5×10<sup>2</sup>)</td> <td>(約 2.6×10<sup>1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 4.1×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 1.3×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 5.6×10<sup>0</sup>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 9.5×10<sup>2</sup></td> <td>約 1.7×10<sup>2</sup></td> <td>約 4.5×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 2.7×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.7×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.2×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 4.7×10<sup>0</sup></td> <td>約 2.9×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.8×10<sup>1</sup></td> <td>約 9.7×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.2×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.2×10<sup>0</sup></td> <td>約 8.3×10<sup>-1</sup></td> <td>約 5.7×10<sup>-3</sup></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 4.6×10<sup>1</sup></td> <td>約 1.1×10<sup>1</sup></td> <td>約 5.4×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 1000</td> <td>約 180</td> <td>約 51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量          ※2 ケース1：原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース          ケース2：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース          ケース3：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>		被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>			ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）	A班	A班	D班	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.2×10 <sup>1</sup>	約 7.6×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.4×10 <sup>1</sup>	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 6.7×10 <sup>0</sup>	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 9.2×10 <sup>2</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>	(内訳) 内部被ばく	(約 8.8×10 <sup>2</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> )	(約 2.6×10 <sup>1</sup> )	外部被ばく	(約 4.1×10 <sup>1</sup> )	(約 1.3×10 <sup>1</sup> )	(約 5.6×10 <sup>0</sup> )	小計 (①+②+③+④)	約 9.5×10 <sup>2</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.5×10 <sup>1</sup>	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 1.2×10 <sup>-1</sup>	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 4.7×10 <sup>0</sup>	約 2.9×10 <sup>-1</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.8×10 <sup>1</sup>	約 9.7×10 <sup>0</sup>	約 5.2×10 <sup>0</sup>	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 3.2×10 <sup>0</sup>	約 8.3×10 <sup>-1</sup>	約 5.7×10 <sup>-3</sup>	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 4.6×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>1</sup>	約 5.4×10 <sup>0</sup>	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1000	約 180	約 51	<p>表 2-25-5 評価結果の内訳（被ばく線量が最大となる班の合計） （原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合）（単位：mSv）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量<sup>※1</sup></th> </tr> <tr> <th>ケース1<sup>※2</sup></th> <th>ケース2<sup>※2</sup></th> <th>ケース3<sup>※2</sup> （ベースケース）</th> </tr> <tr> <th>A班</th> <th>A班</th> <th>D班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中央制御室滞在時</td> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> <td>約 4.1×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 2.2×10<sup>1</sup></td> <td>約 7.6×10<sup>0</sup></td> <td>約 7.0×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 1.4×10<sup>1</sup></td> <td>約 3.4×10<sup>0</sup></td> <td>約 6.8×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 9.2×10<sup>2</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>2</sup></td> <td>約 3.2×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 8.8×10<sup>2</sup>)</td> <td>(約 1.5×10<sup>2</sup>)</td> <td>(約 2.6×10<sup>1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 4.1×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 1.3×10<sup>1</sup>)</td> <td>(約 5.6×10<sup>0</sup>)</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 9.5×10<sup>2</sup></td> <td>約 1.7×10<sup>2</sup></td> <td>約 4.5×10<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入退域時</td> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 2.7×10<sup>-1</sup></td> <td>約 2.7×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.2×10<sup>-1</sup></td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 4.7×10<sup>0</sup></td> <td>約 2.9×10<sup>-1</sup></td> <td>約 1.6×10<sup>-2</sup></td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.8×10<sup>1</sup></td> <td>約 9.7×10<sup>0</sup></td> <td>約 5.2×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく</td> <td>約 3.2×10<sup>0</sup></td> <td>約 8.3×10<sup>-1</sup></td> <td>約 5.7×10<sup>-3</sup></td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 4.6×10<sup>1</sup></td> <td>約 1.1×10<sup>1</sup></td> <td>約 5.4×10<sup>0</sup></td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 1000</td> <td>約 180</td> <td>約 51</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 遮蔽モデル上のコンクリート厚を許容される施工誤差分だけ薄くした場合の被ばく線量          ※2 ケース1：原子炉建屋ブローアウトパネルが開放しており建屋の気密度に期待しないケース          ケース2：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保するが非常用ガス処理系の運転には期待しないケース          ケース3：原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置により建屋の気密度を確保し、非常用ガス処理系の運転に期待するケース</p>		被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>			ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）	A班	A班	D班	中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.2×10 <sup>1</sup>	約 7.6×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.4×10 <sup>1</sup>	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 6.8×10 <sup>0</sup>	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 9.2×10 <sup>2</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>	(内訳) 内部被ばく	(約 8.8×10 <sup>2</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> )	(約 2.6×10 <sup>1</sup> )	外部被ばく	(約 4.1×10 <sup>1</sup> )	(約 1.3×10 <sup>1</sup> )	(約 5.6×10 <sup>0</sup> )	小計 (①+②+③+④)	約 9.5×10 <sup>2</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.5×10 <sup>1</sup>	入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 1.2×10 <sup>-1</sup>	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 4.7×10 <sup>0</sup>	約 2.9×10 <sup>-1</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.8×10 <sup>1</sup>	約 9.7×10 <sup>0</sup>	約 5.2×10 <sup>0</sup>	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 3.2×10 <sup>0</sup>	約 8.3×10 <sup>-1</sup>	約 5.7×10 <sup>-3</sup>	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 4.6×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>1</sup>	約 5.4×10 <sup>0</sup>	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1000	約 180	約 51	評価点の適正化
被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																																																																																																			
	ケース1 <sup>※2</sup>		ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）																																																																																																																																
	A班	A班	D班																																																																																																																																	
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.2×10 <sup>1</sup>	約 7.6×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.4×10 <sup>1</sup>	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 6.7×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 9.2×10 <sup>2</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>																																																																																																																																
	(内訳) 内部被ばく	(約 8.8×10 <sup>2</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> )	(約 2.6×10 <sup>1</sup> )																																																																																																																																
	外部被ばく	(約 4.1×10 <sup>1</sup> )	(約 1.3×10 <sup>1</sup> )	(約 5.6×10 <sup>0</sup> )																																																																																																																																
小計 (①+②+③+④)	約 9.5×10 <sup>2</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.5×10 <sup>1</sup>																																																																																																																																	
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 1.2×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 4.7×10 <sup>0</sup>	約 2.9×10 <sup>-1</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.8×10 <sup>1</sup>	約 9.7×10 <sup>0</sup>	約 5.2×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 3.2×10 <sup>0</sup>	約 8.3×10 <sup>-1</sup>	約 5.7×10 <sup>-3</sup>																																																																																																																																
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 4.6×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>1</sup>	約 5.4×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1000	約 180	約 51																																																																																																																																	
被ばく経路	7日間の実効線量 <sup>※1</sup>																																																																																																																																			
	ケース1 <sup>※2</sup>	ケース2 <sup>※2</sup>	ケース3 <sup>※2</sup> （ベースケース）																																																																																																																																	
	A班	A班	D班																																																																																																																																	
中央制御室滞在時	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>	約 4.1×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																
	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 2.2×10 <sup>1</sup>	約 7.6×10 <sup>0</sup>	約 7.0×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 1.4×10 <sup>1</sup>	約 3.4×10 <sup>0</sup>	約 6.8×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 9.2×10 <sup>2</sup>	約 1.6×10 <sup>2</sup>	約 3.2×10 <sup>1</sup>																																																																																																																																
	(内訳) 内部被ばく	(約 8.8×10 <sup>2</sup> )	(約 1.5×10 <sup>2</sup> )	(約 2.6×10 <sup>1</sup> )																																																																																																																																
	外部被ばく	(約 4.1×10 <sup>1</sup> )	(約 1.3×10 <sup>1</sup> )	(約 5.6×10 <sup>0</sup> )																																																																																																																																
小計 (①+②+③+④)	約 9.5×10 <sup>2</sup>	約 1.7×10 <sup>2</sup>	約 4.5×10 <sup>1</sup>																																																																																																																																	
入退域時	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 2.7×10 <sup>-1</sup>	約 1.2×10 <sup>-1</sup>																																																																																																																																
	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 4.7×10 <sup>0</sup>	約 2.9×10 <sup>-1</sup>	約 1.6×10 <sup>-2</sup>																																																																																																																																
	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退域時の被ばく	約 3.8×10 <sup>1</sup>	約 9.7×10 <sup>0</sup>	約 5.2×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退域時の被ばく	約 3.2×10 <sup>0</sup>	約 8.3×10 <sup>-1</sup>	約 5.7×10 <sup>-3</sup>																																																																																																																																
	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 4.6×10 <sup>1</sup>	約 1.1×10 <sup>1</sup>	約 5.4×10 <sup>0</sup>																																																																																																																																
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 1000	約 180	約 51																																																																																																																																	
59-9-添 2-25-7	59-9-添 2-25-7																																																																																																																																			

重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前		修正後		備考																																																																																																																						
<p>表 2-25-6 DF の効果に対する期待の有無による比較 (被ばく線量が最大となる班の合計) (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量</th> </tr> <tr> <th>(a)DFに期待しない場合 (DF=1)</th> <th>(b)DFに期待する場合 (DF=10)</th> <th>差 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.2 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>1.1 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.9 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 <math>3.3 \times 10^1</math>)</td> <td>(約 <math>2.7 \times 10^1</math>)</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.8 \times 10^0</math>)</td> <td>(約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>4.6 \times 10^1</math></td> <td>約 11</td> </tr> <tr> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.5 \times 10^{-1}</math></td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>9.6 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>9.8 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> <td>約 5</td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 66</td> <td>約 51</td> <td>約 15</td> </tr> </tbody> </table>		被ばく経路	7日間の実効線量			(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.7 \times 10^0$	約 4	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.9 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6	(内訳) 内部被ばく	(約 $3.3 \times 10^1$ )	(約 $2.7 \times 10^1$ )	約 6	外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1	小計 (①+②+③+④)	約 $5.7 \times 10^1$	約 $4.6 \times 10^1$	約 11	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.5 \times 10^{-1}$	約 $1.4 \times 10^{-1}$	<1	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	約 $2.5 \times 10^{-2}$	<1	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.6 \times 10^0$	約 $5.1 \times 10^0$	約 4	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	約 $1.2 \times 10^{-2}$	<1	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.8 \times 10^0$	約 $5.3 \times 10^0$	約 5	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15	<p>表 2-25-6 DF の効果に対する期待の有無による比較 (被ばく線量が最大となる班の合計) (代替循環冷却系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量</th> </tr> <tr> <th>(a)DFに期待しない場合 (DF=1)</th> <th>(b)DFに期待する場合 (DF=10)</th> <th>差 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.2 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>1.1 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.9 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 <math>3.3 \times 10^1</math>)</td> <td>(約 <math>2.7 \times 10^1</math>)</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.8 \times 10^0</math>)</td> <td>(約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>4.6 \times 10^1</math></td> <td>約 11</td> </tr> <tr> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.5 \times 10^{-1}</math></td> <td>約 <math>1.4 \times 10^{-1}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>2.5 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>9.6 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.1 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>9.8 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.3 \times 10^0</math></td> <td>約 5</td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 67</td> <td>約 51</td> <td>約 15</td> </tr> </tbody> </table>		被ばく経路	7日間の実効線量			(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.8 \times 10^0$	約 4	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.9 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6	(内訳) 内部被ばく	(約 $3.3 \times 10^1$ )	(約 $2.7 \times 10^1$ )	約 6	外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1	小計 (①+②+③+④)	約 $5.7 \times 10^1$	約 $4.6 \times 10^1$	約 11	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.5 \times 10^{-1}$	約 $1.4 \times 10^{-1}$	<1	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	約 $2.5 \times 10^{-2}$	<1	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.6 \times 10^0$	約 $5.1 \times 10^0$	約 4	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	約 $1.2 \times 10^{-2}$	<1	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.8 \times 10^0$	約 $5.3 \times 10^0$	約 5	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 67	約 51	約 15	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路	7日間の実効線量																																																																																																																									
	(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)																																																																																																																							
① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1																																																																																																																							
③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.7 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.9 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6																																																																																																																							
(内訳) 内部被ばく	(約 $3.3 \times 10^1$ )	(約 $2.7 \times 10^1$ )	約 6																																																																																																																							
外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1																																																																																																																							
小計 (①+②+③+④)	約 $5.7 \times 10^1$	約 $4.6 \times 10^1$	約 11																																																																																																																							
⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.5 \times 10^{-1}$	約 $1.4 \times 10^{-1}$	<1																																																																																																																							
⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	約 $2.5 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.6 \times 10^0$	約 $5.1 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	約 $1.2 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.8 \times 10^0$	約 $5.3 \times 10^0$	約 5																																																																																																																							
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15																																																																																																																							
被ばく経路	7日間の実効線量																																																																																																																									
	(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)																																																																																																																							
① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1																																																																																																																							
③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.8 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.9 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6																																																																																																																							
(内訳) 内部被ばく	(約 $3.3 \times 10^1$ )	(約 $2.7 \times 10^1$ )	約 6																																																																																																																							
外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1																																																																																																																							
小計 (①+②+③+④)	約 $5.7 \times 10^1$	約 $4.6 \times 10^1$	約 11																																																																																																																							
⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.5 \times 10^{-1}$	約 $1.4 \times 10^{-1}$	<1																																																																																																																							
⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $2.5 \times 10^{-2}$	約 $2.5 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.6 \times 10^0$	約 $5.1 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $1.2 \times 10^{-2}$	約 $1.2 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.8 \times 10^0$	約 $5.3 \times 10^0$	約 5																																																																																																																							
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 67	約 51	約 15																																																																																																																							
59-9-添 2-25-9	59-9-添 2-25-9																																																																																																																									



重大事故等対処設備について（補足説明資料）「59 条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備」比較表

修正前		修正後		備考																																																																																																																						
<p>表 2-25-7 DF の効果に対する期待の有無による比較 (被ばく線量が最大となる班の合計) (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量</th> </tr> <tr> <th>(a)DFに期待しない場合 (DF=1)</th> <th>(b)DFに期待する場合 (DF=10)</th> <th>差 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.2 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>1.1 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>6.7 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.8 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 <math>3.2 \times 10^1</math>)</td> <td>(約 <math>2.6 \times 10^1</math>)</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.8 \times 10^0</math>)</td> <td>(約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.6 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>4.5 \times 10^1</math></td> <td>約 11</td> </tr> <tr> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.3 \times 10^{-1}</math></td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>9.7 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>9.9 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 66</td> <td>約 51</td> <td>約 15</td> </tr> </tbody> </table>		被ばく経路	7日間の実効線量			(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.7 \times 10^0$	約 4	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.8 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6	(内訳) 内部被ばく	(約 $3.2 \times 10^1$ )	(約 $2.6 \times 10^1$ )	約 6	外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1	小計 (①+②+③+④)	約 $5.6 \times 10^1$	約 $4.5 \times 10^1$	約 11	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.3 \times 10^{-1}$	約 $1.2 \times 10^{-1}$	<1	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	約 $1.6 \times 10^{-2}$	<1	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.7 \times 10^0$	約 $5.2 \times 10^0$	約 4	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	約 $5.7 \times 10^{-3}$	<1	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.9 \times 10^0$	約 $5.4 \times 10^0$	約 4	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15	<p>表 2-25-7 DF の効果に対する期待の有無による比較 (被ばく線量が最大となる班の合計) (原子炉格納容器フィルタベント系を用いて事象を収束する場合) (単位: mSv)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">被ばく経路</th> <th colspan="3">7日間の実効線量</th> </tr> <tr> <th>(a)DFに期待しない場合 (DF=1)</th> <th>(b)DFに期待する場合 (DF=10)</th> <th>差 (a)-(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>4.2 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>4.1 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>7.2 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>7.0 \times 10^0</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>1.1 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>6.8 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく</td> <td>約 <math>3.8 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>3.2 \times 10^1</math></td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>(内訳) 内部被ばく</td> <td>(約 <math>3.2 \times 10^1</math>)</td> <td>(約 <math>2.6 \times 10^1</math>)</td> <td>約 6</td> </tr> <tr> <td>外部被ばく</td> <td>(約 <math>5.8 \times 10^0</math>)</td> <td>(約 <math>5.6 \times 10^0</math>)</td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (①+②+③+④)</td> <td>約 <math>5.6 \times 10^1</math></td> <td>約 <math>4.5 \times 10^1</math></td> <td>約 11</td> </tr> <tr> <td>⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.3 \times 10^{-1}</math></td> <td>約 <math>1.2 \times 10^{-1}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> <td>約 <math>1.6 \times 10^{-2}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>9.7 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.2 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく</td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> <td>約 <math>5.7 \times 10^{-3}</math></td> <td>&lt;1</td> </tr> <tr> <td>小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 <math>9.9 \times 10^0</math></td> <td>約 <math>5.4 \times 10^0</math></td> <td>約 4</td> </tr> <tr> <td>合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</td> <td>約 66</td> <td>約 51</td> <td>約 15</td> </tr> </tbody> </table>		被ばく経路	7日間の実効線量			(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)	① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1	② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1	③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.8 \times 10^0$	約 4	④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.8 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6	(内訳) 内部被ばく	(約 $3.2 \times 10^1$ )	(約 $2.6 \times 10^1$ )	約 6	外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1	小計 (①+②+③+④)	約 $5.6 \times 10^1$	約 $4.5 \times 10^1$	約 11	⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.3 \times 10^{-1}$	約 $1.2 \times 10^{-1}$	<1	⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	約 $1.6 \times 10^{-2}$	<1	⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.7 \times 10^0$	約 $5.2 \times 10^0$	約 4	⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	約 $5.7 \times 10^{-3}$	<1	小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.9 \times 10^0$	約 $5.4 \times 10^0$	約 4	合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15	<p>評価点の適正化</p>
被ばく経路	7日間の実効線量																																																																																																																									
	(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)																																																																																																																							
① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1																																																																																																																							
③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.7 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.8 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6																																																																																																																							
(内訳) 内部被ばく	(約 $3.2 \times 10^1$ )	(約 $2.6 \times 10^1$ )	約 6																																																																																																																							
外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1																																																																																																																							
小計 (①+②+③+④)	約 $5.6 \times 10^1$	約 $4.5 \times 10^1$	約 11																																																																																																																							
⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.3 \times 10^{-1}$	約 $1.2 \times 10^{-1}$	<1																																																																																																																							
⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	約 $1.6 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.7 \times 10^0$	約 $5.2 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	約 $5.7 \times 10^{-3}$	<1																																																																																																																							
小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.9 \times 10^0$	約 $5.4 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15																																																																																																																							
被ばく経路	7日間の実効線量																																																																																																																									
	(a)DFに期待しない場合 (DF=1)	(b)DFに期待する場合 (DF=10)	差 (a)-(b)																																																																																																																							
① 原子炉建屋原子炉棟内の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $4.2 \times 10^{-2}$	約 $4.1 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
② 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $7.2 \times 10^0$	約 $7.0 \times 10^0$	<1																																																																																																																							
③ 地表面に沈着した放射性物質のガンマ線による中央制御室内での被ばく	約 $1.1 \times 10^1$	約 $6.8 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
④ 室内に外気から取り込まれた放射性物質による中央制御室内での被ばく	約 $3.8 \times 10^1$	約 $3.2 \times 10^1$	約 6																																																																																																																							
(内訳) 内部被ばく	(約 $3.2 \times 10^1$ )	(約 $2.6 \times 10^1$ )	約 6																																																																																																																							
外部被ばく	(約 $5.8 \times 10^0$ )	(約 $5.6 \times 10^0$ )	<1																																																																																																																							
小計 (①+②+③+④)	約 $5.6 \times 10^1$	約 $4.5 \times 10^1$	約 11																																																																																																																							
⑤ 原子炉建屋原子炉棟内等の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.3 \times 10^{-1}$	約 $1.2 \times 10^{-1}$	<1																																																																																																																							
⑥ 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $1.6 \times 10^{-2}$	約 $1.6 \times 10^{-2}$	<1																																																																																																																							
⑦ 地表面に沈着した放射性物質からのガンマ線による入退城時の被ばく	約 $9.7 \times 10^0$	約 $5.2 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
⑧ 大気中へ放出された放射性物質の吸入摂取による入退城時の被ばく	約 $5.7 \times 10^{-3}$	約 $5.7 \times 10^{-3}$	<1																																																																																																																							
小計 (⑤+⑥+⑦+⑧)	約 $9.9 \times 10^0$	約 $5.4 \times 10^0$	約 4																																																																																																																							
合計 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)	約 66	約 51	約 15																																																																																																																							
59-9-添 2-25-10	59-9-添 2-25-10																																																																																																																									